



OCFC NEWS

2001年9月15日特大号

Vol. 8

大川こども&内科クリニック

インフルエンザワクチン10月1日開始

～風邪ひく前のインフルエンザワクチン～
65歳以上の方には公費負担が実現

予約
受付中!

インフルエンザは昨シーズン大流行が避けられましたが、乳幼児や高齢者が罹患すると脳炎・脳症あるいは間質性肺炎となり死に至ることもある恐ろしい病気です。昨シーズンでも31人(1昨年は1382人)が亡くなっており、重症化・死亡を防ぐには早期診断と抗インフルエンザ薬の早期使用、ジクロフェナクナトリウム(ボルタレン)・アスピリンの使用を避ける必要がありますが、一番大切なことはインフルエンザワクチンの接種です。このワクチンは発症を防ぐ力はそれ程強くありませんが、それでも接種者のほうが発症頻度は低く、なりよりも重症化を防ぎ、死亡に至ることを防ぎます。本年度より65歳以上の高齢者にはある程度の公費負担が行なわれる予定です。

ワクチン接種は流行期以前に行なわなくてはなりません。また効力は早期に接種してもシーズン中有効ですので10月・11月中の早期に接種しましょう。

重症化する危険が高いハイリスクに属する方は

65歳以上の老人、養護施設での生活者、呼吸器・心臓疾患の方です。また乳幼児で託児所に通っている方も必ず接種しましょう。新生児や乳児がいいらっしゃるご家庭では他の家族の方がそろって接種することが必要です。また託児所や幼稚園・学校・病院・訪問看護に従事されている方も接種しましょう。妊娠されている方は妊娠14週以降が安全とされていますが、予定日が流行期に一致する場合はどの時期でも接種すべきであるという勧告がACIP(アメリカの予防接種諮問委員会)から出されています。OCFCでは妊娠の方にも積極的に接種する予定です。

接種回数は13歳未満で原則2回、13歳以上で1回です。OCFCでは月曜・土曜の午前中を除き毎日接種致します。午後6時以降や日曜・祭日にも行なうときがあります。受付あるいは代表電話(03-3758-0920)にてご予約下さい。

高齢者や乳幼児はもちろん、どなたにとっても転ばぬ先の杖と風邪ひく前のインフルエンザワクチンは必要です。

インフルエンザワクチン 接種対象者	①65歳以上の高齢者 ②喘息・高血圧等呼吸器・循環器疾患のある方 ③糖尿病・高脂血症・腎疾患・血液疾患の方 ④長期療養施設入居者 ⑤アスピリンを服用されている方 ⑥病院・療養施設従事者 ⑦以上の方と同居されている方
インフルエンザワクチン を勧められる方	①寮等で共同生活している方 ②託児所・保育園・幼稚園・学校に通っている方および勤務者 ③公共サービス従事者 ④妊娠されている方